

上野ひでのり講師 第5回
 「先読みバランスチャートFX」定点観測のポイント
 「【先読みFX】テクニカル分析レポート兼売買シグナル」
 の利用のしかた

ウィークリー定点観測

土曜日 月足、週足、日足、4時間足、1時間足、15分足、5分足
 超短期デイトレ戦略(30分~2時間)では、4時間足のダウの方向でトレードの方向を決定する
 読み取れたことをコメントとして書き出す

定点観測のポイント

ダウ ≡ ボーダーラインとアラートラインの方向
 トレンドは明確な転換シグナルが発生するまでは継続する

ローソク足の位置 直近の高値と安値の確認
 近くにどんなラインが走っているか?
 上下どちらにスペースが空いているか?

先読み短期セット、中期セット、長期セットの位置、クロス関係はどうなっているか?
 短期サインと中期サインのクロス関係の確認
 ⇒今回も、ボリンジャーバンドとRSIは無視して解説します。

仕掛けの原則

ダウが向いている方向以外には仕掛けない 上位、下位の時間軸で方向が食い違っている場合には要注意
 ラインが混み合っているところ(レンジ)から、抜ける瞬間を待つ

EUR/USD 2012年11月2日
 終値:1.28295ベース

月足 下げ
 週足 下げ
 日足 上げ
 4時間足 下げ
 1時間足 下げ
 15分足 下げ

ショート方向の節目

1.28033 2012年10月1日の安値
 1.26617 週足のアラートライン

今後のシナリオ

ショート方向へのブレイクアウト ターゲット 先週金曜日の安値1.28203
 東京タイムの序盤 8:00~10:00
 ロンドンタイムの序盤 16:00~19:00

通貨ペア	時間軸	ダウ	記入日時	分析コメント
EUR/USD	月足	下げ	12/11/03 6:00	2010年6月7日の安値1.18760を更新することなく、7月24日の年初来安値1.20411から反発局面である。短期サインのサポートを使うか横抜けすると、上昇方向にスペースが広がり、年初来高値の1.34853、アラートラインの1.34902近辺までの上昇は、年内に示現する可能性がある。一方、中期サインの1.2773を下抜けるようだと、再度1.20411の安値を試しにいく可能性もある。ただし、この近辺には長期サインのサポートが控えているので、年内に1.2割れの可能性は低いだろう。年内は、1.2から1.34後半までのレンジ相場を想定しておきたい。つまり年初来安値から高値までのあいだでどちらにも動く可能性があるが、現状では上のほうが伸びしろが大きいイメージである。先月は、短期サインがレジスタンスになっていたため上値が重く、9月の高値を上抜けず、はらみ足になっていた。現在は、中期サインにサポートされる形で、1.28前半まで押し目を付けている。
	週足	下げ	12/11/03 6:00	2008年7月15日の史上最高値1.60370からの戻り高値である2009年12月2日の1.51440及び2011年5月4日の1.49393以降、ボダー・アラートは下げダウが継続している。短期・中期・長期サインの関係もショート方向へのパーフェクト・オーダーを形成している。しかし、月足で述べたように2年前の安値を切り上げて上昇中であることから、三角保ち合いの形に入りつつあるとも読める。過去6週間は、短期セットがレジスタンスとして集中する1.3157とアラートラインのサポート1.26617の500pips弱のスペースでのレンジ相場になっているが、7月24日の安値からの上昇の勢いをまだ維持していると考えられる。来週以降は、短期サインを横抜けしてくるので、短期ベルトのレジスタンスがどれくらい強いかが試しにいく展開になるか。
	日足	上げ	12/11/03 6:00	上げダウであるが、今後上値を試すためには、9月17日の高値1.31709とぴったり重なる長期サインのレベルを短中期サインがゴールデンクロスして上抜いていく必要がある。金曜日の下げでは、短期サインのサポートも下抜き、短期ベルトの中に潜り込んでいる。RSIとしては、リバーサルが確認できており、週明けから反転上昇の可能性を認識しておきたい。
	4時間足	下げ	12/11/03 6:00	ボダー・アラート、短中長期サインの関係で、ショート方向へのパーフェクトオーダーが完成した。今後のデイトレードは、ショートを基本戦略として組み立てていくことになる。金曜日は、前日終値から111pips下げしており、長期サインでサポートされた形である。ローソク足の実体はボリンジャーバンドのトレンドゾーンに留まり、さらなる下落の可能性を示唆するものの、週明けは長期サインのサポートが効いてすぐに大きな下落にはなりにくいかもしれない。
	1時間足	下げ	12/11/03 6:00	4時間足と同様で、ショート方向へのパーフェクトオーダーを形成している。ローソク足の実体は、イグジットゾーンまで達するバンドウォークで下落トレンドが継続している。1時間足以下は、既にサポートとなるラインは何もなく、上位の時間軸のサポートとの関係で、どこまでショートを追えるか決まってくる状況である。
	15分足	下げ	12/11/03 6:00	4時間足、1時間足と完全に整合するが、週明けは、ローソク足の実体がトレンドゾーンからレンジゾーンに戻す可能性がある。また、金曜日の断続的な下落の度に、RSIはわずかながらも連続ダイバージェンスを発生させており、下落の勢いがいったん鈍っていることを示唆している。
	5分足	上げ	12/11/03 6:00	15分足に先駆けて、ローソク足の実体はいったんレンジゾーンに戻っている。金曜日の安値1.28203ではRSIがダイバージェンスを発生させているが、そこから反発してアラートラインのレジスタンスで大引けを迎えた段階ではRSIはリバーサル状態であり、週明けにいったん金曜日の安値チャレンジなる可能性もある。
	総評 仕掛けのチャンス			12/11/03 6:00